



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2014～2015 年度 RI のテーマ

Light Up Rotary

会長 廣井慎一 幹事 古谷 豊

<http://www.sugito.club>

第2291回例会 2015年5月21日

点鐘

廣井会長

ロータリーソング

それこそロータリー

四つのテストの唱和

渡辺会員

お客様紹介

さいたま大空 RC 会長 小口 聡美様

米山奨学生 康 鎮凡君

会長挨拶

廣井会長

先日仕事の関係で、名古屋の全国総会に行って参りました。上野東京ラインが通り、東京駅まで行くのに大変便利になりました。宇都宮線・高崎線・常磐線・横須賀線・東海道線が一緒になり、久喜駅から東京駅まで直で行けるようになったのですが、便利が良い反面、多くの路線があり、宇都宮線・高崎線遅延とか折り返し運転がものすごく多くなっています。



先週小学校1年生の娘が、学校帰りに転んで肘を打ちました。腫れ方がひどいので病院に行ったところ、肘の骨にひびが入っていました。骨のひびは通常はそのまま自然に付くのですが、肘は関節の動きで骨が筋肉に引っ張られ、何日かすると骨が剥がれてしまうことがあるそうです。数日様子を見て、ひびが開いてくるようであれば手術をして針金を入れなければなりません。先日の再検査でなんとか手術をしないですむことになりホッとしました。

右肘をけがしたので、学校では鉛筆を左手で持たなければなりません。まだ字を書きはじめてばかりなので右手で書いても左手で書いても大差ないんですね(笑)。本人も左手で書くことにまださほど違和感がないんです。大人がいきなり左手で書こうとすると大変なストレスですが、子どもは柔軟性がありますね。このまま両利き(スイッチ)になったらすごいなあなんて思っています。

先ほど言いました、名古屋の全国総会の中で、人が話をする際の口癖がすごく気になりました。その方は、語尾に必ず「～ですね。」を付けます。内容は素晴らしいのですが、後半はもうそれが気になってしまい身が入りませんでした。そのまま原稿に起こすとおそらく3分の2くらいの内容になるでしょう。しかし、人に何かを伝えようとすると、よほど慣れた人でないかぎり、つい熱が入り同じことを繰り返してしまったり、語尾に癖が出てしまったりしてしまいます。本当に壇上で話をするのは難しいです。

本日お越しの小口さんは、財団の学友でもあります。財団の奨学生というのは、ものすごくハードルが高いです。大学を卒業して、働きながらボランティア活動を2年間以上している人だったと思います。本日は、とても素晴らしい話が聞けると思います。とても楽しみです。

幹事報告

折原副幹事

- 次年度ロータリー財団部門より、平成27年7月18日(土)大宮ソニック市民ホールにて開催される部門セミナーの案内が届いております。
- 次年度会員増強維持部門より、平成27年6月26日(金)川口キュポラ本館にて開催される部門セミナーの案内が届いております。
- 次年度管理運営部門より、平成27年6月26日(金)浦和コミュニティセンターにて開催される次年度クラブ研修セミナーの案内が届いております。

寄付者表彰

廣井会長



渡辺良一会員(財団3回)



田中昌夫会員(米山2回)

例会日: 木曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

奨学生報告

康 鎮凡君

最近は、就職活動で忙しく例会に出席できなくてすみません。先日、矢島さんご夫婦にご招待頂きまして、サム君と食事を御馳走になりました。私は3年間実家に帰っていないので、久しぶりに家族のように食事をして大変感動致しました。ありがとうございました。また、サム君は高校生なので、普段なかなか話す機会がないのですがこのように親しく話ができよかったです。



昨日、茨城県にある会社の筆記試験を受けました。そのあと工場見学をして、面接のスケジュールを決めたのですが、卒業まであと半年しかないのではとても焦っています。毎日忙しくしているのに、なぜこんなに時間がないのか自分の能力が足りないのかと不安になります。時間の使い方だけでなく、やはり経験の足りなさから物事を上手くこなすことができないようです。学生の間にもっと色々なことに挑戦し自分の能力を磨いて、経験を積むことができればよかったです。様々な会社説明会を通して分かったことは、日本の企業は単に完成された優秀な学生を求めているのではなく、バランスのとれた伸びしろのある扱いやすい人材を求めているということです。

卓話

さいたま大空 RC 小口 聡美様

本日は例会の貴重なお時間を頂きありがとうございました。しかも2週連続で、さいたま大空 RC をお招き頂きご縁の深さを嬉しく思っております。



私は青年海外協力隊として、去年の7月からネパールに派遣されております。滞在20か月の予定で3月までいる予定でしたが今回の大地震で、一時避難ということになりました。先ほど米山奨学生の康君が、日本での経験が足りなくて不安になると言っていました。私もネパール経験が足りなくてイライラしたり、話をしっかり聞いていたにもかかわらず理解できなかったりすることがあり、康君のもどかしさや焦る気持ちはすごく分かります。

私は、2006～07年度国際親善奨学生として、アメリカのコロンビア大学の大学院課程に留学をしておりました。その時に、国際教育開発の修士号を取り、国際理解に関する教育や、途上国の教育にとっても興味がありました。修士が終わって、民間企業に勤めましたが、やはり教育現場にいたいという気持ちが強く2009年から2014年3月

経歴

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
AC	★	★								
教員			★							
JOCV								★	★	★

アクセンチュア株式会社
・公共サービス部門



さいたま市立中学校
・英語科教諭
・水泳部顧問



青年海外協力隊
・キルティプル市役所
一般廃棄物管理課
・環境教育活動



まで、さいたま市の中学校で英語の教員をしておりました。そこで2年間教員としての資格は持ったまま、青年海外協力隊として海外に出向できる制度があると知り、早速応募を致しまして、今回2年間の期限でネパールに行くことになりました。

私が暮らしているキルティプの市役所は、職員60名の小さな役所です。その中で私は一般廃棄物管理課に属し少しでもゴミが少なくなるような活動をしております。私は教員経験があるということ、市内の小学校や子ども会、婦人会などで、ゴミを少なくする工夫の話をしています。またバザーを開催しゴミを減らす支援もしています。

現地ではゴミ箱にゴミを捨てるという習慣がありません。ゴミはすると手から落ち、いつの間にか手からなくなっているという感覚です。雨が降るとゴミが流れてきれいになったねといえます(笑)。昔は有機ゴミばかりでしたので自然に分解されるのでそれでも良かったのですが、最近はプラスチックゴミが多くなり問題になっております。

4月25日のネパール地震の日、私は休日でカトマンズ市の隣町におりまして、ネパール人の友達とバスに乗っておりました。突然衝撃がありましたが、バスが急ブレーキをかけたのかと思えました。走っていた道は、比較的新しい大通りだったので建物の倒壊もなく、すぐには地震だと気が付きませんでした。

現地の様子 ～ 当日



これは、地震当日の写真ですが、立派な邸宅の塀も崩れ、スーパーの陳列棚から商品が落ちています。私が出国するまでの1週間は特に暴動もありませんでした。

現地の様子 ～ 建築物



これは、世界遺産のシヴァ寺院の地震前の状態と後です。他の世界遺産の修復にも10年以上かかると言われています。また観光などを含めこの地震による経済損失は10億～100億ドル以上だといえます。



震災3日後(4/27)倒壊家屋に住む人はテント暮らしです。政府からは、給水、テントの設営などは行われていますが、すべての対応が遅く、政府への不信感は募るばかりです。地震後1週間くらいして、首相が避難所を慰問に訪れたときには、今まで暴動がなかったのに、被災者が首相に詰め寄り、暴動が起きるのではないかという収拾がつかない状況になりました。

ネパールでは、政府が本当に信頼されていません。私は役所にいるので公的な立場ですが、就業時間が10時～5時でも10時に私以外誰も出勤していません。10時に来客があっても、〇〇さんは、11頃出勤ですとか、〇〇さんは、いつも11時30分くらいにならないと来ませんと、私が対応します。すると「これだからネパール政府は…」と文句を言って皆去っていきます。

今ネパールにいる青年海外協力隊は53人いますが、そのうち帰国しているのが33人です。JICA(国際協力機構)が、カトマンズ盆地以外の隊員は戻らなくてもいいという決定をしたので、残りの20人は、戻らず現地からこちらに情報を送ってくれています。彼らも村役場のようなところに配属されていますが、先日、村役場に何の用途かわからない札束が届いたと言っていました。他の隊員が調べたところ、被害地域には45万ルピー(約36万円)、被害が大きい地域には90万ルピー(約72万円)を支給すると政府が発表したのです。ところが、「用途は村役場に任せるので、自分たちで必要なことをやってくれ」ということなんです。実態を把握していないからです。実際、被災地ではほぼ流通が止まっているので、いくら現金をもらっても何の役にも立ちません。今でもお金がお金のまま保管されている状況です。

また、政府が、遺族には10万ルピー、倒壊した家屋には45万ルピーを支給すると早くから声明を発表したものですから、市役所に人がどんどん詰めかけてしまい、「早くお金をくれ」「壊れた家をなんとかしてくれ」と混乱を極めています。



海外からは、支援もたくさん入っていました。右上の写真は、イギリスNGOのオックスファムからの水ですね。左下の公園の階段には、海外から届いたものをとりあえず置いておく場所です。物資を配ろうとしたら、1000人くらいが殺到し収拾がつかなくなったということで、その後3日間手を付けられることなく置いてありました。

日本からできること



では、「日本からできることは何ですか」とよく聞かれますが、今ネパールで一番足りていないものは住宅です。日本でも東北大震災で被災した人々に、住宅は今でも足りていないと思います。ネパールでも同じですね。彼らはもともと自分たちでレンガを積み上げて住宅を作ってしまうので、仮設住宅という考え方がありません。なので、とりあえずテントに住むという生活をしていますが、体力的には厳しくなっています。

ネパールの平均年収は 360\$です。全然我々と桁が違いますので 30 万円くらいで普通の家が一軒建ちます。丈夫なコンクリートの家は高価で 300 万円と値が上がります。しかし、ほとんどの人が一個 30 円か 40 円のレンガを買ってきて、自分で積み上げてまた作り直してしまうでしょう。70 年後とか 80 年後に周期的に地震が起きるので、本当は今から対策をするべきなんです。今後の為にも、日本の仮設住宅の技術やアイデアを現地の人に頂ければと思っています。

今後の目標



私の目標ですが、6 月 1 日予定通り戻れたら、政府から配られた薬品や緊急物資を配るこの仕事を手伝う予定です。市役所では、ゴミ関連をやっていましたが、どうしても地震直後に「ゴミを分別しようね」と言っても難しいと思います。私は、もともと防災教育や避難訓練も現地ですておりましたので、余震が続く今後は「本来はこうやってやるといいんだよ」と日本のやり方を教えていきたいです。



出席報告

折原会員

会員数	出席	欠席	免除	MU	出席率
39	17	22	1	13	76.92%

スマイル報告

折原会員

廣井会長: 小口様、卓話ありがとうございました。

矢島会員: お客様ようこそ。パーゴルフ読みました。会長・戸賀崎さん見ました。

折原(正)会員: 小口様、卓話ありがとうございました。

関口会員: 本日胃カメラ、無罪放免でした。5/28、6/4、6/11 欠席します。

下津谷会員: 昨夜の雨で涼くなりましたね。

舟越会員: 永らく休みました。もうだいじょうぶです。

栗原会員: 武井会員: 渡辺(孝)会員: 渋谷会員:

新井会員: 渡辺(良)会員: 古谷(松)会員

加藤会員: 折原(弥)会員: 田中会員: 渡辺(嘉)会員

馬場会員: お客様ようこそ。卓話ありがとうございました。

スマイル本日投入額	24,500円
スマイル累計額	1,105,500円
スマイル目標額	1,200,000円